

第5期 第3回さいたま市外国人市民委員会 会議録

1 開催日時および場所

- (1) 日時：令和5年3月20日（月） 午後6時30分～午後8時30分
(2) 場所：浦和コミュニティセンター 第15集会室

2 出席委員氏名

委員長：西川 ナンシ

委員：王 蕾、羅 昊、ノルル シヤズミラ、金 京垠、
ディプティ アナンダ ムルティ、山下 美賢、柳田 リサ アン

3 議題

- (1) 第5期外国人市民委員会提言内容について
(2) 意見交換

4 会議の公開

公開 傍聴者はなし

5 会議資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・第5期 第1回さいたま市外国人市民委員会での意見
- ・第5期 第2回さいたま市外国人市民委員会での意見
- ・総合調整会議での意見
- ・第1期～第4期さいたま市外国人市民委員会提言内容

6 内容

- (1) 第5期外国人市民委員会提言内容について
《事務局説明》
事務局より、前回の会議で出た意見と総合調整会議で出た意見について説明
しました。
- (2) 意見交換
[主な意見]
・日本語を教えてくれるボランティアの活動内容や時間を考えると、高齢の方に

なってしまうのは仕方ないことと思う。年齢を重ねているからこそ丁寧に教えられることもあると思うが、みんなが通いやすい雰囲気づくりという意味では、年が近い人の方が良いかもしれない。活動を知ってもらえれば、色々な人がボランティア活動に参加してもらえるかもしれない。

- 学校の流れに関するビデオを、外国人が家で一人で見て理解できないだろう。学校の先生と一緒に見られれば理解度が上がるので、ぜひ誰かと話しながら見る機会を作してほしい。
- 外国人市民委員会での毎回の意見が今後どのようにつながっていくのか気になっていた。今日総合調整会議でのフィードバックをもらえてとても嬉しい。
- 学校の書類を説明会の時に書いていくことができなかったが、その後、学校から連絡があり、口頭で状況を伝えて、学校で書いてもらえることになった。しかし、自分の言いたいことが伝わったかどうか心配になった。必要な物品などは、学校が細かく画像やサイズを教えてくれるが、ピンと乗ないときがあるので、一度オリエンテーションのようなものを開いて、みんなで状況を共有できれば助かる。
- 日本語では、主語がなくても大丈夫ということにとっても驚いた。また、私の国では初対面で年齢を聞き、年上なら必ず敬語を使う。やさしい日本語を使い、あえて敬語を使わない、という配慮を知らなかったら、私はどう思っただろうと考えてしまった。長く日本に住んで、日本のことを分かっているつもりだったが、分からないところがあった。こうやってお互いに理解が深めることは、外国人が社会に出てつながりを持つ上で大切だ。
- 税に関する言葉はとても難しく、分かりにくいので、納税の仕組みを説明する講習会があれば、安心して納税できるのではないかな。
- 手続きについて翻訳してある説明資料があっても、日本人の誰かが一緒に見て、一緒に書類を書くという作業は必要だ。税を理解してもらうために、工夫がいるだろう。
- 確定申告の手続きが難しく、今年をあきらめてしまった。
- さいたまスーパーアリーナで説明会があり、そこで確定申告の手続きができたので良かった。
- 今までは年末調整だけで、確定申告はしていなかったが、誰も教えてくれなかったので、医療費控除やふるさと納税の制度があることをつい最近まで知らなかった。
- 医療費控除については、医療機関にお知らせを貼っていただくだけでも違うのではないかな。
- 病院等で通訳ができるレベルの語彙力を身に付け、通訳を必要としている方がいる場合には駆け付けられるようにしたいと思っている。そういったスキルは

- どこで勉強ができるのか、講座が受けられる場所があれば教えてほしい。
- 子どもの具合が悪くなり、救急で見てもらいたかったが、必ず受診前に電話を求められる。状態を日本語で説明するのは難しい。
 - 電話で説明できなかったので、結局直接病院に来てと言われ、行ったことがある。遅い時間は診てくれる病院に限られてしまい、困った。救急でかかる場所はかかりつけ医に聞いた。自分で調べることができなかつたり、知り合いがいなかつたりしたら、病院にかかれないだろう。
 - 夜間の緊急時だけでも、外国語に対応できる窓口があれば良い。どこに聞けば分かるのかだけでも教えてほしい。
 - 日本語が分からなくても、電話で棒読みするだけで救急車を呼べるようなシートがあれば良い。
 - 子どもを妊娠した時に、英語と日本語（バイリンガル）の母子手帳を区役所でもらって助かった。指差し会話帳がついていて、便利。日本に来たばかりの友達にもコピーして渡してあげている。知らない人もいるかもしれない。私の場合は日本人の友達と一緒に区役所で手続きした。
 - 使いやすい翻訳アプリがあれば、周知してもらいたい。
 - 子どもの具合が悪くなった時、夜間診療の窓口に、症状は伝えられたが程度がうまく伝えられずに、今診てほしかったのに、お持ちの薬を飲んで様子を見てくださと言われて終わってしまった。そういったものもマニュアル化しておけばスムーズに進むのではないか。
 - 地域日本語ボランティア教室で、年2〜3回、医療や防災について教えてもらえる機会があり、とても役に立っているので継続してもらいたい。
 - 情報を教えてもらえる拠点がつながれる場所になればいい。地域にいる人たちでそういうことができる人を育ててほしい。

<今後検討するテーマについて>

- 文化体験の紹介、地域資源の活用というのは魅力的なテーマだと思う。イベントに参加して日本の生活のことが分かつたり、友達を作つたりできる機会があると馴染みやすくなると思う。お茶や生け花など、魅力的な日本の文化はたくさんある。
- 外国人がボランティアをする機会がもっとあっていい。日本に恩返ししたいと言っている友達もいる。他の外国人にも日本の良さをもっと伝えたい。
- 国際交流センターが主催している国際友好フェアでは、民族衣装を着て踊る人もいるし、自分の国の料理を作つて販売する人もいる。そういうイベントでも、交流ができて良い。
- 私は今、岩槻人形博物館で展示している人形を紹介するボランティアの

- 研修^{けんしゅう}をしている。そこで得た情報^{え じょうほう}は、外国人^{がいこくじん}にも日本人^{にほんじん}にも伝^{つた}えている。
- ・人形博物館^{にんぎょうはくぶつかん}のような日本^{にほん}の文化^{ぶんか}を伝^{つた}える施設^{しせつ}で、外国人^{がいこくじん}が案内役^{あんないやく}を務めるのも面白^{おもしろ}いと思^{おも}う。
 - ・さいたま市^{さいたま}では浦和レッズ^{うらわ れっず}も有名^{ゆうめい}だし、人形^{にんぎょう}、盆栽^{ぼんさい}などの伝統文化^{でんとうぶんか}もある。桜^{さくら}を見たり、いちご狩^がりをするバスツアー^{バスツアー}があってもいい。日本語^{にほんご}の勉強^{べんきょう}にもなるし、そういった場^ばで外国人^{がいこくじん}に情報提供^{じょうほうていきょう}もできるのではないか。
 - ・ひな祭り^{ひなまつり}の時に、鴻巣^{こうのす}の雛めぐりイベント^{ひな}にいった。そこではバスツアー^{バスツアー}があつて、日本語^{にほんご}のみだったが、鴻巣^{こうのす}の名前^{なまえ}の由来^{ゆらい}なども教^{おし}えてもらえて、とても楽し^{たの}しかった。
 - ・外国人^{がいこくじん}と日本人^{にほんじん}の親子^{おやこ}を集めて料理^{あつ りょうり}をしたり、楽器^{がっき}を演奏^{えんそう}したりするの交流^{こうりゅう}ができて良^よい。
 - ・役所^{やくしよ}の手続き^{てつづ}きで必要なもの^{ひつよう}のリストは、写真付き^{しやしんづ}のものがあると良^よい。
 - ・サポート役^{やく}のコーディネーターにすぐ相談^{そうだん}できる窓口^{まどぐち}があれば良^よいと思^{おも}う。人の配置^{はいち}は大変^{たいへん}だけれど、最近^{さいきん}はAIの技術^{ぎじゆつ}も発達^{はつたつ}しているので、そういったもの^{もの}を活用^{かつよう}するの1つ^{ひと}の方法^{ほうほう}だと思^{おも}う。
 - ・自治会^{じちかい}のことを知らない人^{ひと}も多い。私^{わたし}もマンション^{マンション}に住んでいた時^{とき}は知らなかつた。回覧板^{かいらんばん}の存在^{そんざい}や、マンション^{マンション}在住^{ざいじゆう}でも加入^{かにゆう}できることも知らず、また、盆踊^{ぼんおど}りなどの町内^{ちやうない}イベント^{イベント}に参加^{さんか}していいかどうかも分からなかつたので、おし知らせ^{しらせ}してもらえる場^ばがあると良^よい。
 - ・日本^{にほん}の交通ルール^{こうつう}が分からなくて違反^{ゐはん}をしてしまう不安^{ふあん}がある。また、子ども^{こども}が自転車^{じてんしゃ}に乗り始^{はじ}めたので心配^{しんぱい}がある。防犯^{ぼうはん}についても、最近^{さいきん}強盗^{きやうとう}などの事件^{じけん}があつたりするので、そういった情報^{じょうほう}が手^てに入りやすい状^{はい}況^{きやう}になればいいと思^{おも}った。日本語^{にほんご}の情報^{じょうほう}はあるが、外国人^{がいこくじん}にも分^わかりやすくなつてると良^よい。

まとめ

- ・今日^{きやう}の意見^{いけん}を事務局^{じむきよく}で整理^{せいり}し、次回^{じかい}の会議^{かいぎ}で引き続^ひき提言^{ていげん}の内容^{ないよう}を議論^{ぎろん}していくことになりました。

以上